

事業報告

自 平成22年 4月 1日

至 平成23年 3月31日

財団法人 豆腐会館

I. 会議開催

(1) 評議員会

- | | |
|-------------|--|
| 平成22年 5月27日 | 平成21年度事業報告、収支計算書、財産目録、貸借対照表及び正味財産増減計算書、平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）、平成22年度の借入金の最高限度額(案)、公印規程の制定、その他（ホテルパークサイド） |
| 平成22年11月24日 | 公益法人制度改革について（講師：いずみ会計事務所・浦田 泉 税理士）、(財)豆腐会館における最初の評議員の選任方法（案）、一般財団法人豆腐会館の定款（案）（参考）、その他（ホテルパークサイド） |
| 平成23年 3月11日 | 最初の評議員の選任に関する理事の定めの認可申請、一般財団法人豆腐会館の定款（案）、会員に関する規程（案）、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程（案）、一般財団法人豆腐会館理事会運営規則（案）、同評議員会運営規則（案）、全国豆腐共済会の一部改正（案）等の承認、その他（東京ベイ有明ワシントンホテル） |
| 平成23年 3月29日 | 平成23年度事業計画（案）、平成23年度収支予算（案）、その他（全豆連会議室） |

(2) 理事会

- | | |
|-------------|--|
| 平成22年 5月27日 | 平成21年度事業報告、収支計算書、財産目録、貸借対照表及び正味財産増減計算書、平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）、平成22 |
|-------------|--|

年度の借入金の最高限度額(案)、公印規程の制定、その他(ホテルパークサイド)

平成22年11月24日 公益法人制度改革について(講師:いずみ会計事務所・浦田 泉 税理士)、(財)豆腐会館における最初の評議員の選任方法(案)、一般財団法人豆腐会館の定款(案)(参考)、その他(ホテルパークサイド)

平成23年 3月11日 最初の評議員の選任に関する理事の定め承認申請、一般財団法人豆腐会館の定款(案)、会員に関する規程(案)、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程(案)、一般財団法人豆腐会館理事会運営規則(案)、同評議員会運営規則(案)、全国豆腐共済会の一部改正(案)等の承認、その他(東京ベイ有明ワシントンホテル)

平成23年 3月29日 平成23年度事業計画(案)、平成23年度収支予算(案)、その他(全豆連会議室)

(3) 監事会

平成22年 4月23日 決算監査(全豆ビル)

II. 事業の状況

(財)豆腐会館は、公益法人制度改革に対応し、「一般財団法人」への移行・申請を目指すこととしており、本年度はその準備を推進する一年となった。具体的には、専門のコンサルティングをいずみ会計事務所(代表:浦田 泉 税理士)等に委託し、指導のもと移行申請に向けた新定款や諸規定及び公益法人会計基準に沿った会計処理等の整備を行った。この度の制度改正は、当財団が昭和30年に設立されて以来の大改革となることから、求められている公益目的事業の創出を含め組織・運営体制の抜本的な見直し・整備についても留意した。

公益法人制度移行に関する業務の状況

平成22年 9月 1日 打ち合わせ(いずみ会計事務所)

平成22年10月25日 打ち合わせ(いずみ会計事務所・榊会計事務所)

平成22年11月24日 理事会・評議員会での講義(いずみ会計事務所)

平成22年11月28日 打ち合わせ(いずみ会計事務所・榊会計事務所)

平成22年12月 4日 打ち合わせ(いずみ会計事務所)

平成22年12月21日 打ち合わせ (いずみ会計事務所)
 平成23年 1月 7日 打ち合わせ (いずみ会計事務所)
 平成23年 1月21日 打ち合わせ (いずみ会計事務所)
 平成23年 2月15日 打ち合わせ (いずみ会計事務所・榊会計事務所)
 平成23年 2月23日 打ち合わせ (いずみ会計事務所・山西司法書士)
 平成23年 3月 2日 打ち合わせ (いずみ会計事務所)
 平成23年 3月 4日 打ち合わせ (いずみ会計事務所・山西司法書士)
 平成23年 3月11日 理事会・評議員会での収支予算に関する説明 (いずみ会計事務所)
 平成23年 3月15日 理事会・評議員会 (いずみ会計事務所)

(1) 調査研究事業

全国豆腐油揚商工組合連合会及び全国豆腐油揚協同組合連合会と連携し豆腐類製造業に関する調査研究、情報及び資料の収集・提供、技術向上等の事業を行った。

(2) 教育情報事業

教育情報事業の一環として当財団のホームページで告知し、取り組んでいる豆腐油揚類製品製造業の「開業支援事業」については、電話又は訪問等による相談が年間数10件にのぼった。これに対し、当財団では相談者を関係組合に紹介し、相手の条件などを伝えるなどマッチングに鋭意務めたところである。

また、引き続き会報「全豆連」(年2回)を両連合会と分担し発行した。第328号(平成23年1月7日発行)は、2011豆腐フェアを目前に控えていたことから、特集記事を掲載し、関係団体・企業の支援協力を得てかつてない全16頁、フルカラー印刷にて発行した。

発行部数	第327号	1, 126部
	第328号	1, 690部
	計	2, 816部

(3) 共済事業

昨年度、公益法人制度改革による一般財団法人移行に鑑み、保険業法の規制対象外とする措置として1事業者1口の加入、会費を¥1,000とし、「火災見舞金」の給付額を最高10万円とする全国豆腐共済会規約の所要の改正を行うとともに、都道府県支部に対する事務費を1口につき50円から200円に拡充し新規加入促進を図った。22年度においては、公益法人制度改革への対応の観点から共済事業についても一般管理費等の費用を応分に負担する必要があること、移行後において公益目的事業支出を毎年計上することが求められていることから、同事業が保有する積立金について合理的な必要経費を支出可能とする規約の一部改正を行った。なお、本年度の事業加入・給付状況は別表の

とおり。

(4) 啓蒙普及事業

- ① 昨年度全面リニューアルを行った全豆連ホームページ（アドレス：<http://www.zentoren.jp>）の活用により、豆腐製品のPRに努めるとともに、当財団の活動及び業界のトピックスやレシピ、イベント情報等の配信を行った。
- ② 啓蒙普及用冊子「豆腐」を全面リニューアルし、画像やイラストなどの利活用により消費者、料理・栄養関係者等に対する訴求力の向上を図った。なお、内容についても現状に合致するよう再監修を行った。
- ③ 映画「豆腐小僧」（京極夏彦氏原作、ワーナーブラザース・フジTV・電通・角川書店他の製作）とタイアップし、低年齢層に対して「とうふ」のアピールを図るとともに、2011豆腐フェアとのコラボレーションを推進した。また、同映画を活用し、「小僧のとうふ、ここにあり」ポスター及び映画特別割引券を全組合員に配布しPRに努めた。
- ④ 昨年に引き続き、豆腐料理レシピを盛り込み、スタイルを一新した全豆連カレンダーの斡旋を行った。
- ⑤ 日本の食を次の世代に残し、創るために民間企業・団体・行政等が一体となって推進する食料自給率向上に向けた国民運動「フード・アクション・ニッポン」の活動に支援・協力を行った。
- ⑥ 農林水産省の「消費者の部屋」に出向し、豆腐の啓蒙活動を行うとともに資料の提供等を行い、「食育」の普及推進に支援協力を行った。

(5) 東日本大震災への対応

平成23年3月11日（金）午後2時46分頃に発生した標記震災は、死者・行方不明者2万4千人超、建物の被害20万戸超という甚大な被害を及ぼした。豆腐油揚事業者の中にも安否不明者や事業所の倒壊、流通の麻痺、物資の不足、ライフラインの断絶による操業不能等の事態を招いたことから、3月17日には義援金募集の口座を開設するとともに、3月18日には全国豆腐油揚商工組合連合会と連携し、緊急車両証を取得して宮城県若林区に原料大豆の緊急搬送を行うなど、被災地への支援活動に努めた。

また、余震の頻発、福島原子力発電所の放射能漏えい問題、電力の供給不足問題、その他風評被害は長期化の様相を呈し、中小企業の8割が直接・間接的な被害を蒙っているなど国内経済への深刻な影響が懸念されている。さらに事業者に対しては、夏場の需要電力の抑制とその取り組みが求められている。当財団の事務局も書庫・備品等の倒壊や通信システムの損傷により数日間事務局機能が麻痺した。

(6) 全国豆腐組合役員名簿の発行

全国豆腐油揚商工組合連合会及び同協同組合連合会が役員改選期に発行している標記名簿の作成・配布に協力した。組合法の改正により役員任期が3年か

ら2年に短縮されたことから、今回から2年毎に発行とすることとなった。なお、作成については個人情報保護法に留意し、配布先を両連合会の会員・組合員、賛助会員・協賛企業、関係機関等にとどめた。

(7) 「2011豆腐フェア」への取り組み

6年振りに東京開催となる標記フェアについては、主催団体の一つとして、全国豆腐油揚商工組合連合会及び同協同組合連合会及び関連業界と連携し、平成22年3月20日(土)の準備会を皮切りに下記の各委員会を設置し、開催準備を推進してきた。しかし、開催会期の前日である平成23年3月11日(金)、東日本を襲った大震災により、(株)東京ビッグサイトより会場の安全確認ができない旨の申し入れがあり中止を余儀なくされた。なお、今後の同フェア開催については、この度の東京開催を惜しむ声が多数寄せられていることを受けて、震災復興の動向を踏まえつつ来年春の開催に向けて今後検討を重ねていくこととなった。

5月21日	第1回	企画委員会
7月16日	第2回	企画委員会
7月16日	第1回	実行委員会
9月2日	第3回	企画委員会
10月7日	第4回	企画委員会
11月10日	出展者説明会・第5回	企画委員会
12月7日	第6回	企画委員会
1月26日	第2回	実行委員会・第7回 企画委員会 合同会議
2月25日	第8回	企画委員会 合同会議

[予定されていた共催イベント]

サンプル百貨店「リアルサンプルプロモーション」、Dreamia club 豆腐メニュープレゼンテーション 2011、食育コーナー 手作り豆腐体験、料理研究家・辰巳芳子氏 基調講演&料理実演、「豆富小僧」特設コーナー、豆腐屋ナイト。

(8) 業務及び財産状況等報告

平成21年度事業終了に伴い、平成22年7月7日、農林水産省へ標記報告を行った。

(9) 役員及び事業者等の表彰

平成23年3月11日、全豆連賛助会設立よりのメンバーで本年創立150周年を迎えられた(有)吉川化学工業所・吉川滉一氏に対し、感謝状及び記念品を贈呈した。

10) 全国豆腐油揚商工組合連合会・全国豆腐油揚協同組合連合会への支援協力

両連合会の各種事業への支援とともに事務所・会議室の供与及び運営・事務処理等の全面協力を行った。

Ⅲ. 全豆ビルの管理・運営

本年3月11日に発生した東日本大震災により当ビルも被災し、壁面・備品等の損傷を蒙ったため、急遽耐震診断及び備品の補充を余儀なくされた。なお、引き続き老朽化した設備等の改善・改修、改正消防法の遵守に留意するとともに、管理運営の適正化に努めた。また、賃料等の延滞が生じたテナントに対し法的措置を講じ、和解調停を行った。

(1) 入退去等の状況

テナントの異動

4階 ㈱ブレスト	12.39坪から24.78坪に拡張
エーケーエス デザイン㈱	20.92坪から8.53坪に縮小

備考：全室入居、貸室総面積165.9坪

(2) 施設の改修・補修等

- ① 5F給湯管更新工事(22年4月)
- ② 4F配電盤改良工事(22年4月)
- ③ 冷房機メンテナンスに係る部品交換工事(22年6月)
- ④ 3Fファンコイル漏水修繕工事及び2F天井修復工事(22年6月)
- ⑤ 水道メーター型式失効による交換工事(22年7月)
- ⑥ 5F更新に伴う補修工事(22年10月)
- ⑦ 6F照明器具カバー補修工事(22年10月)
- ⑧ 5Fファンコイル更新工事(22年11月)
- ⑨ B1F汚雑排水槽警報盤取付工事(22年11月)
- ⑩ 機械室鋼製階段修繕工事(22年12月)
- ⑪ 給湯器更新工事(23年2月)
- ⑫ 5F給湯室壁面及びタイル修繕工事(23年2月)
- ⑬ 防火鉄扉建付調整及びドアチェック交換工事(23年2月)

(3) 防災・環境・安全対策等

- ① 窓ガラス定期清掃(22年6月・12月)
- ② ビルピット(地階汚雑排水槽)定期清掃(22年6月)
- ③ 消防総合点検・自衛消防訓練及び同届出(22年8月・23年2月)
- ④ 空調設備メンテナンス(22年6月、10月)
- ⑤ 使用中のPCB製品の使用状況報告書届出(東京都、22年6月)
- ⑥ 電気設備保安定期点検(22年9月)

- ⑦ PCB含有電気工作物の使用（設置・予備品所有）届出（関東東北産業保安監督部、22年11月）
- ⑧ 館内年末清掃（22年12月）
- ⑨ 震災に係るビル総点検（23年3月）
- ⑩ エレベーター保守点検（毎月）
- ⑪ 資源リサイクル（資源回収、毎月）

平成22年度 全国豆腐共済会加入及び給付状況

平成23年3月31日現在

都道府県名	加入人員	金額 @ 750	火災見舞金		死亡弔慰金	
			件数	金額	件数	金額
北海道 宮城 秋田 福島	9	6,750				
群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 静岡	43	32,250			2	20,000
	152	114,000			3	30,000
	133	99,750			2	20,000
	146	109,500			4	40,000
	152	114,000			3	30,000
富山 福井 長野 愛知	7	5,250				
	32	24,000	1	100,000		
	12	9,000				
京都 和歌山	25	18,750				
岡山						
徳島 高知 香川 愛媛						
福岡 佐賀 熊本 大分 沖縄	38	28,500				
	22	16,500	1	50,000		
	27	20,250			1	10,000
	35	26,250				
合計	844 (977人)	633,000 (1,002,750円)	2	150,000	15	150,000

() 内は昨年度実績

平成22年度期末収支

会費収入	633,000 円	支出	火災見舞金	150,000 円
			死亡弔慰金	150,000 円
計	633,000 円	計		300,000 円
差引合計		333,000 円		